

健康福祉局 健康づくり推進課

がん検診受診率向上に関する 取組について

【がん検診受診率の課題】

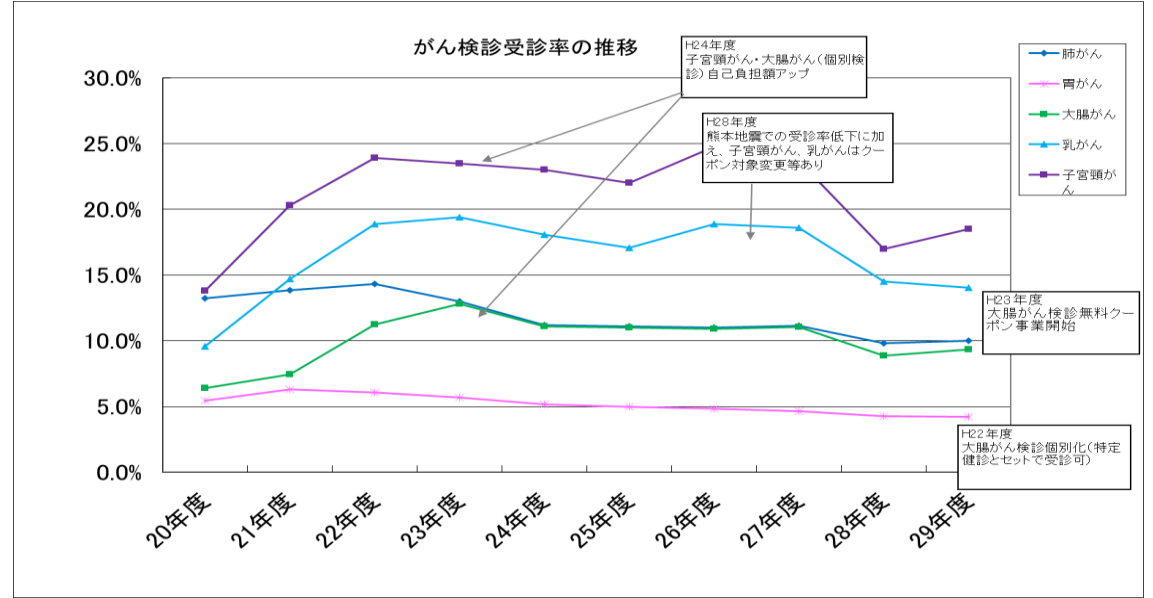
【受診率の推移】

がん検診の受診率は、下記に記載した市町合併、無料クーポン事業等の制度変更、震災等により受診率は乱高下しており、**制度改正等に受診率が影響される傾向にある。**

また、政令指定都市で受診率比較を行うと**どのがん検診も政令市平均よりも低い。**

【主な制度改正等】

- ・H20年度 富合町合併
- ・H21年度 城南町・植木町合併
子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン事業開始
- ・H22年度 大腸がん検診個別検診開始
- ・H23年度 大腸がん検診無料クーポン事業開始
- ・H24年度 子宮頸がん・大腸がん（個別検診）自己負担額アップ
- ・H28年度 熊本地震発災
子宮頸がん、乳がんのクーポン対象者変更
大腸がんクーポン終了



指定都市の中における本市のがん検診受診率

【肺がん】		【胃がん】		【大腸がん】		【乳がん】		【子宮頸がん】	
政令市	受診率	政令市	受診率	政令市	受診率	政令市	受診率	政令市	受診率
1 さいたま市	17.4%	1 新潟市	13.8%	1 さいたま市	15.7%	1 仙台市	24.1%	1 仙台市	20.2%
2 千葉市	16.9%	2 さいたま市	9.0%	2 新潟市	15.2%	2 千葉市	19.5%	2 名古屋市	19.3%
3 浜松市	15.8%	3 浜松市	6.5%	3 千葉市	14.7%	3 さいたま市	15.4%	3 相模原市	16.6%
4 岡山市	13.3%	4 川崎市	5.0%	4 浜松市	14.4%	4 名古屋市	15.1%	4 千葉市	16.0%
5 仙台市	12.7%	5 相模原市	4.4%	5 仙台市	13.9%	5 相模原市	14.5%	5 札幌市	15.6%
6 相模原市	11.4%	6 福岡市	4.1%	6 全国	11.1%	6 全国	14.3%	6 福岡市	15.0%
7 静岡市	11.2%	7 札幌市	3.1%	7 岡山市	10.9%	7 新潟市	14.2%	7 広島市	14.7%
8 川崎市	10.5%	8 政令市	3.0%	7 相模原市	10.8%	7 札幌市	13.0%	8 横浜市	14.3%
9 全国	10.3%	9 全国	2.8%	8 名古屋市	10.2%	8 横浜市	12.8%	9 全国	13.9%
10 広島市	8.5%	10 名古屋市	2.7%	9 神戸市	9.4%	9 浜松市	12.7%	9 さいたま市	13.8%
11 新潟市	8.1%	11 名古屋市	2.6%	10 川崎市	9.4%	10 神戸市	12.6%	10 堺市	13.6%
12 熊本市	4.8%	12 名古屋市	2.5%	11 静岡市	8.8%	11 政令市	12.3%	11 静岡市	13.3%
13 横浜市	4.1%	13 岡山市	2.4%	12 熊本市	8.2%	12 熊本市	12.1%	12 川崎市	12.8%
14 京都市	3.6%	14 広島市	1.9%	13 堺市	6.8%	13 静岡市	11.7%	13 新潟市	12.0%
15 大阪市	3.1%	15 大阪市	1.8%	14 横浜市	6.4%	14 岡山市	11.6%	14 浜松市	11.8%
16 神戸市	2.8%	16 北九州市	1.0%	15 札幌市	6.1%	15 堺市	10.2%	15 北九州市	10.8%
17 堺市	2.4%	17 神戸市	0.9%	16 熊本市	4.3%	16 福岡市	9.8%	16 岡山市	10.0%
18 福岡市	1.9%	18 京都市	0.9%	17 福岡市	4.2%	17 北九州市	8.9%	17 熊本市	8.9%
19 北九州市	1.7%	19 熊本市	0.9%	18 大阪市	4.1%	18 熊本市	8.3%	18 大阪市	8.5%
20 札幌市	1.5%	20 堺市	0.9%	19 北九州市	3.8%	19 京都市	7.9%	19 神戸市	8.3%
				20 京都市	3.0%	20 大阪市	6.9%	20 京都市	6.7%

がん検診受診率指定都市比較（H28年度）

【現在の取組】

【受診率目標と取組】

がん検診受診率目標は、7次総合計画の前期計画の検証値とし、その目標数値に到達できるよう各年度の受診率目安、受診者数目安を設定した。

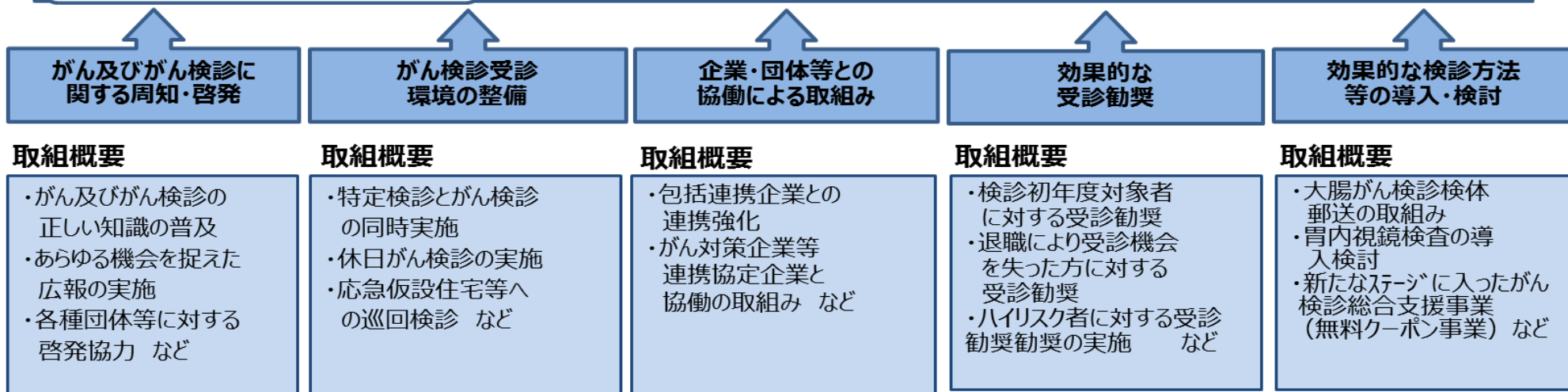
受診率向上に向けた取組については、下記の市民への周知啓発から効果的な検診方法導入まで5本の柱で実施している。

7次総合計画に基づいたがん検診受診率目標

検証指標	H28年度 (基準値)		H29年度 (目標値目安)		H30年度 (目標値)		H31年度 (7総検証値)	
	受診率	受診者数	受診率 目安	受診者数 目安	受診率 目安	受診者数 目安	受診率 目標	受診者数 目標目安
肺がん検診受診率	9.8%	20,000	10.9%	23,084	12.1%	25,675	13.1%	27,743
胃がん検診受診率	4.2%	8,658	5.0%	10,659	6.0%	12,774	6.7%	14,189
大腸がん検診受診率	8.9%	18,108	10.3%	21,742	11.8%	25,081	13.0%	27,531
乳がん検診受診率	14.5%	9,287	16.1%	9,977	17.8%	11,530	19.2%	11,783
子宮頸がん検診受診率	17.0%	13,095	19.5%	14,095	22.4%	17,755	24.5%	17,560

目標：第7次総合計画目標値
期間：H29年度～H31年度

がん検診受診率向上



【受診率向上の主な取組】

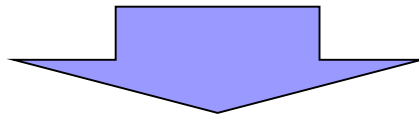
- 1 **がん及びがん検診に関する周知・啓発**
 - ・熊本市いきいき健康大使の協力による啓発（H29年度～）
- 2 **がん検診受診環境の整備**
 - ・応急仮設住宅における巡回検診の実施（H28年度～）
 - ・冬期における大腸がん郵送検診（H29年度～）・・・①
- 3 **企業・団体等との協働による取組**
 - ・がん対策連携協定企業会議を開催（H29年度～）
 - ・協定企業との連携事業実施（H30年度）・・・②
- 4 **効果的な受診勧奨**
 - ・受診勧奨の拡充（がん検診ハイリスク者など）（H29年度～）・・・③
- 5 **効果的な検診方法等の導入・検討**
 - ・胃がん検診における内視鏡検査導入（H30年度～）・・・④
 - ・効果的な無料クーポン事業の実施（H29年度～）・・・③
 - ・がん検診無料化の検討・・・⑤

【取組の検証】

①冬期における大腸がん郵送検診（H29年度～）

【大腸がん検診の課題及び取組の背景】

- 働き盛り世代（40～50歳）大腸がん検診受診者は全体の約2割
- がん検診を受診しない理由として「時間が取れない」、「めんどう」が上位



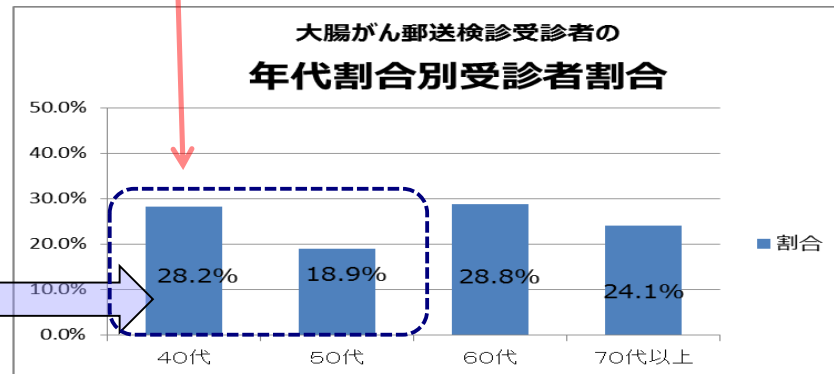
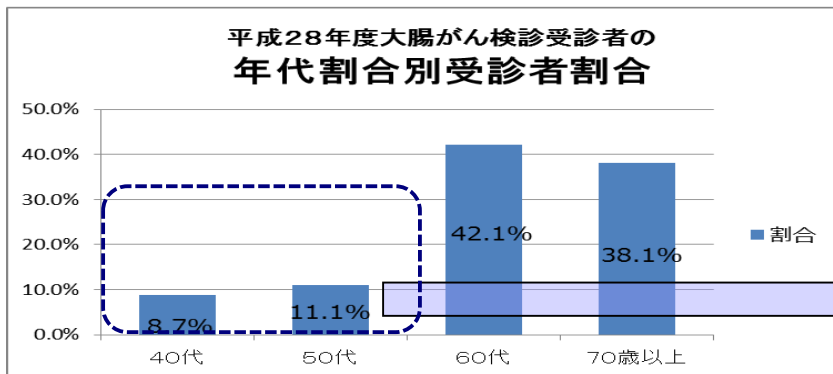
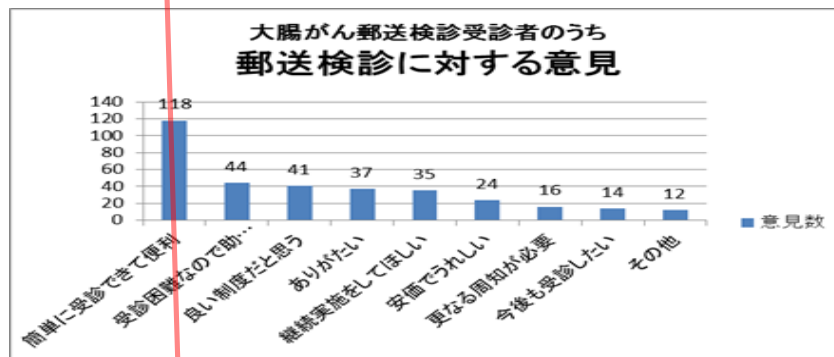
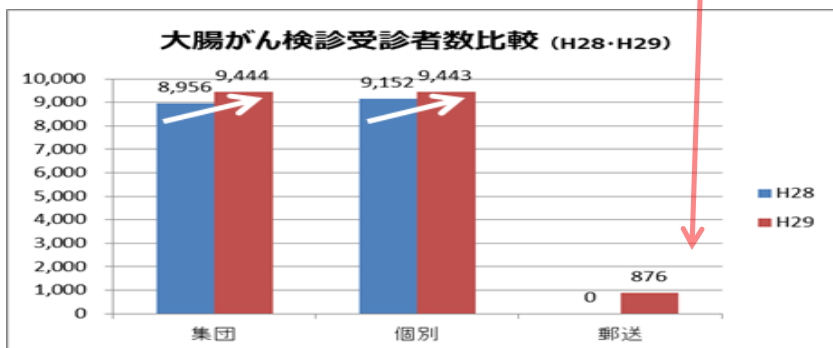
【初年度の目標】

- 受診者数：1,000人
- 予算額：2,739千円
- 広報手段：

市政だより、ホームページ、Facebook、区役所等へのチラシ設置、自治会掲示板へのポスター掲示、テレビ（サタブラ）出演

【結果】

- **受診者数：876人（受診者数全体も増加）**
- **郵送検診では働き盛り世代が約5割に増加**
- **アンケートにおいて「簡単にできて便利」との意見が多かった（約15%）**

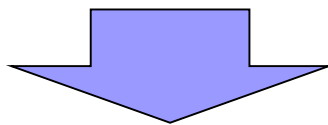


【課題】

- **アンケート意見では、周知不足や更に利便性を高めてほしいという意見も上げられていた。**

【課題への対応】H30年度

- 周知方法にLINE、回覧板による全戸回覧を追加
- 受付方法においても電話に加え、メール、FAXでも可能とした。



【現状】

昨年度の受診者数：876人（受診者数全体も増加）

⇒ 申込1,656人（H31.1.15現在）

②協定企業との連携事業実施 (H30年度～)



参加者募集

入場無料

リビング
医療セミナー

乳しがん

市民公開講座

“10人に1人が乳がんになる”いま
～大切ないのちを守るために～

日時 2018年 **5月13日** 日
13:30～16:00(受付開始13:00～)

会場 市民会館 シアーズホーム
夢ホール 中央区桜町1-3
※公共交通機関をご利用ください

定員 **300名**
※申し込み先着順
※定員になり次第締め切らせていただきます

内容

- 第1部 / 大切な貴女を守るために
～乳がん検診について話しましょう～
- 第2部 / 乳がんの罹患リスクとは?
～肥満・運動・食事・遺伝…～
- 第3部 / 検診で見つかる乳がんは
本当に早期なの?
- 第4部 / 大きく変わった乳がん治療
～新しい標準治療～

共催 / 熊本リビング新聞社・熊本市・中外製薬
後援 / 肥後ほほえみの会・ピンクリボンくまもと

母の日乳がん講演会の実施

参加申込：286人

講演会概要

講演①みわクリニック院長 秋月美和先生

講演②熊本日赤病院乳がん看護

認定看護師 山下真由先生

講演③くまもと森都総合病院乳腺センター

医長 奥村恭博先生

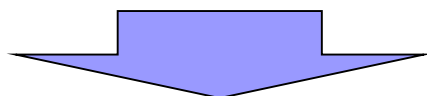
講演④熊本大学院乳腺・内分泌外科

准教授 山本豊先生

③ 受診勧奨の拡充（がん検診ハイリスク者など）（H29年度～）

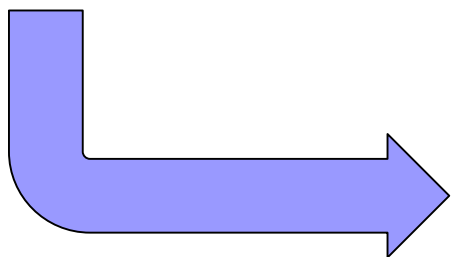
【子宮頸がん検診の課題及び取組の背景】

- 無料クーポン制度改正により受診者数が大幅減
- 無料クーポン事業利用率の低迷



【取組】

- 罹患率の高い世代（20代～30代）の女性に対し受診勧奨圧着はがきで検診内容等を分かりやすく伝える個別受診勧奨を実施
- 無料クーポン事業の送付後の対応として再勧奨を実施。乳がん検診も同様の取組を実施。



○ 受診勧奨の拡充状況

受診勧奨区分	平成28年度以前	平成29年度 (実績見込)	平成30年度 (実績見込)
【一定年齢到達者向け】 ※退職世代、節目年齢、無料クーポン対象者	52500人	81900人	80400人
【ハイリスク者向け】 ※地震により受診機会を逸した方（H28）、乳がん、子宮頸がんハイリスク者	0人	63,000人	144,000人
受診勧奨合計	52,500人	144,900人	224,400人

※受診勧奨数は概算

ハイリスク対象者等（子宮頸がん） 前面

H28以前 3,700人（20歳）⇒ H29 36,700人（20,26～38歳）

郵便ハガキ

料金後納
郵便

子宮頸がん検診の お知らせ

このはがきは一定年齢の方へお送りしています。

— お問い合わせ —

熊本市コールセンター ひごまるコール

TEL (096)334-1500(専門的な問い合わせを除く)

熊本市 健康づくり推進課

TEL (096)361-2145

万一、このハガキが湿っている場合は、十分に乾かしてから矢印方向にゆっくりはがして中をご覧ください。

子宮頸がん検診ってどんな検査？

検査時間は10～20分程度です。

1. 医師による診察(問診・視診・内診)



問診後、内診台に座り、医師が子宮頸部の状態を目で確認し、子宮全体と卵巣・卵管などを触ってチェックします。ゆったりとしたスカートで検診されることをお勧めします。

2. 細胞診



子宮頸部の表面(粘膜)を綿棒などで軽くこすり、とった細胞を顕微鏡で調べます。このときほんの少し出血することはあっても、痛みなどはほとんどありません。

子宮頸がんはHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が関与しています。

感染してもほとんどの場合は症状のないうちに排除されますが、**ごく一部の人**で感染が持続し、**長期間を経て**子宮頸がんに至ることがあります。

※HPVは一度でも性交渉の経験があれば感染している可能性があります。性交渉の経験がない方は、検診を受診する前に医師にご相談ください。

子宮頸がん検診の流れ

1. 事前予約

医療機関で受診の場合

原則必要ありませんが、診察の状況によっては受診できない場合もありますので、事前に電話をされることをお勧めします。また、一部医療機関は事前予約制です。**予約または受診の際に「熊本市のがん検診で」とお声がけください！**

**実施医療機関はこちらから→
熊本市ホームページ**



集団検診会場で受診の場合

一部地域(飽田、天明、北部、河内)では検診車での集団検診を実施します。詳しくは市政だより12月号でお知らせしますのでご確認ください。

2. 受診

検診に必要なもの 保険証などの身分証明書
検診料(自己負担金)

医療機関	1,200円
集団検診会場	1,000円

※生活保護受給世帯、市民税非課税世帯の方は、一定の証明書の提示で自己負担金が免除になります。

検査結果は約4週間後に郵送にてお知らせします。

ハイリスク対象者等（子宮頸がん）裏面

対象年齢の方は熊本市より
約6,400円の助成があります♪

子宮頸がん検診は助成がない場合、約7,600円程度の検査ですが、市の検診を受けると約6,400円の助成※があり、自己負担金1,200円で検診が受けられます。（医療機関で受診の場合）

医療機関で受診した場合

検査費用	約 7,600 円
- 助成金※	約 6,400 円
自己負担金	1,200 円

集団検診会場で受診した場合

検査費用	約 4,700 円
- 助成金※	約 3,700 円
自己負担金	1,000 円

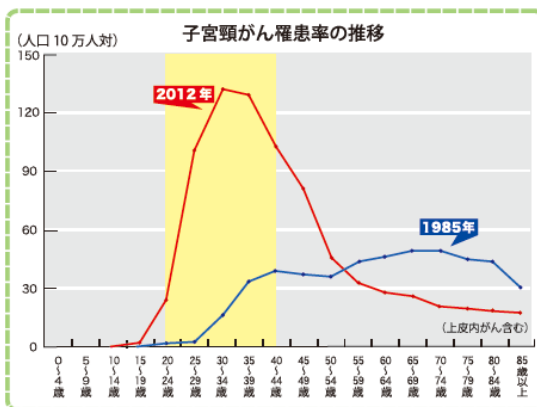
※現金が支給されるわけではありません。

受診できるのは**2年に1回!**

熊本市の子宮頸がん検診は、熊本市に住民票があり、年度内に20歳以上の偶数年齢になる女性を対象としています。今年度対象の方は平成30年3月31日までに受診してください。

※年度とは4月1日～翌年3月31日までのことです。

子宮頸がんは20歳代・30歳代の
若い女性に増加しています!



子宮頸がんは、早期のうちはほとんど
自覚症状がありません。

「特に異常はないから大丈夫」そう思っていますか？

早期には自覚症状がないため、「異常を感じたら」では手遅れになる場合があります。

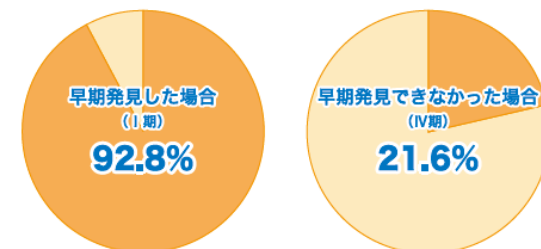
早期に見つけるには、検診を受けるのが最善の方法です。

子宮頸がんは早期のうちに治療すれば、
90%以上が治ります。※

子宮頸がんが進行すると子宮摘出手術が必要となる場合もありますが、早期のうちに治療すれば、子宮を摘出せずに治療できるため、妊娠・出産も可能です。

※ここでいう「治る(=治癒)」とは、診断時からの5年相対生存率です。相対生存率は、がん以外の原因でなくなる人の影響を除いた数値です。

5年相対生存率



出典：がんの統計'16 全国がん(成人病)センター協議会
加盟施設における5年生存率(2006~2008年診断例)

子宮頸がん検診は
2年に1度、必ず
受診してください。



※このはがきは、今年度28、32、34、38歳を迎える女性にお送りしています。既に受診済みの方はご容赦ください。

【結果】

- 子宮頸がん検診受診者数：45.9%増（前年比）
- 乳・子宮頸がん無料クーポン：乳7.4%、子42.4%増（前年比）

1 受診勧奨（子宮頸がんハイリスク者）の拡充

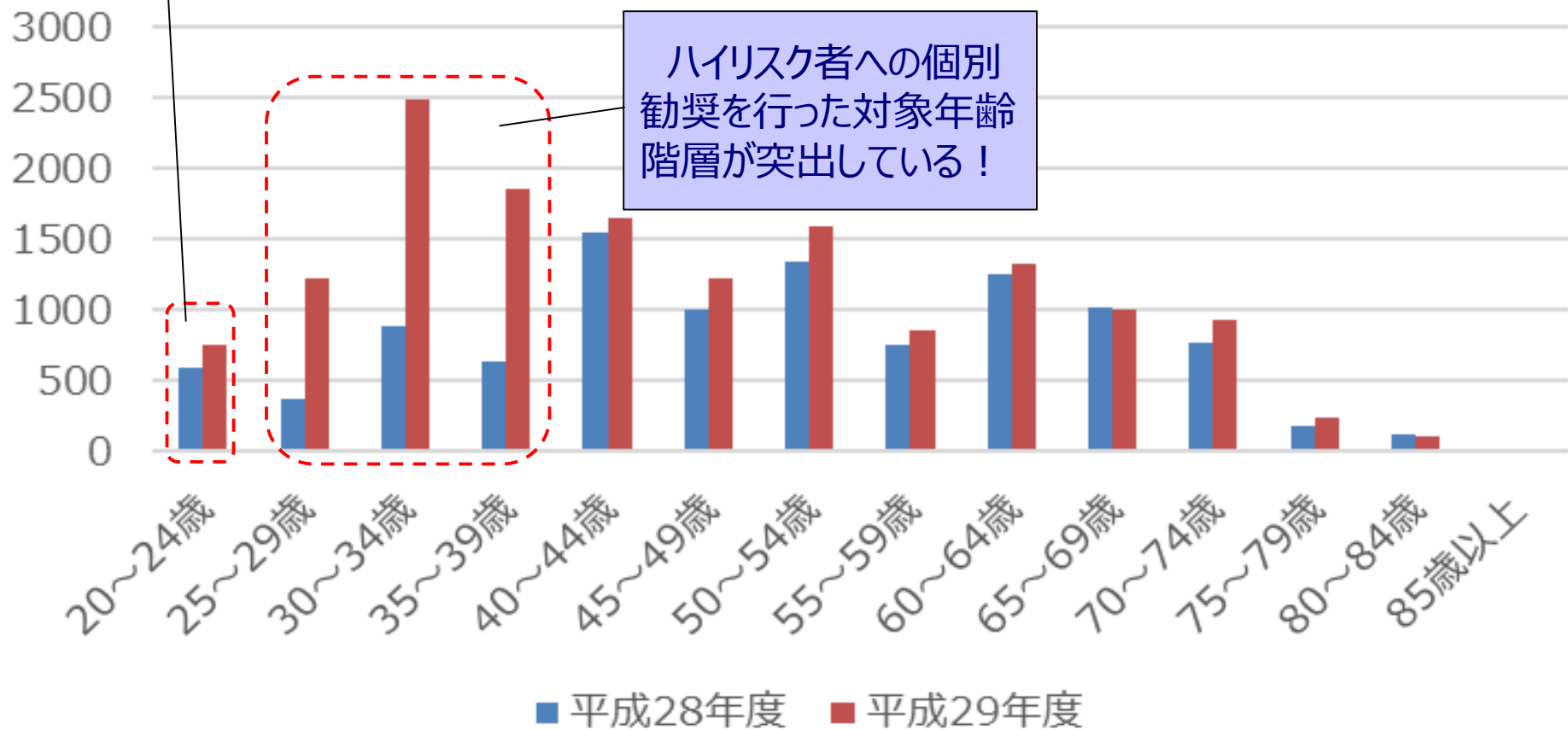
区分	受診者 (H28)	受診者 (H29)	備考
子宮頸がん	10,440人	15,241人	※45.9%の伸び

2 効果的ながん検診無料クーポン事業の実施

区分	受診者 (H28)	受診者 (H29)	備考
乳がん	1,372人	1,473人	※7.4%の伸び
子宮頸がん	302人	430人	※42.4%の伸び

クーポン対象者への
再勧奨の実施

子宮頸がん年代別受診者数（H28-29比較）



平成30年度から乳がん 40～50代をハイリスク層と位置づけ 個別受診勧奨の実施（7月末） ハイリスク対象者等（乳がん） 前面

H28以前 5,000人（40歳） ⇒ H30 41,000人（40～58歳）

郵便ハガキ

料金後納
郵便

乳がん検診のご案内

— お問い合わせ —

熊本市コールセンター ひごまるコール

TEL (096) 334-1500(専門的な問い合わせを除く)

熊本市 健康づくり推進課

TEL (096) 361-2145

万一、このハガキが湿っている場合は、十分に乾かしてから矢印方向にゆっくりはがして中をご覧ください。

乳がん検診って何をやるの？

1. 医師による問診

自覚症状などについてお聞きします。

2. 視触診

医師が乳房を触診して、しこりがないか調べます。

3. マンモグラフィ検査

乳房のレントゲンをとります。



マンモグラフィは1cm以下のがんも 見つけられる優れた画像検査法！

マンモグラフィ検査は乳房のレントゲン撮影です。プラスチックの板と撮影台に乳房を片方ずつ挟み、乳房を圧迫して撮影します。乳がん検診方法として効果があることが確認されている検査法で、早期乳がんの検出に有効です。

検診で「要精密検査」という結果が出た場合は必ず精密検査を受けてください。※

※検診ではがんでないのに「要精密検査」と判断される場合や、がんがあるのに見つけられない場合もあります。

乳がん検診の流れ

1. 事前予約

熊本市のがん検診では受診券は発行していません。実施医療機関か熊本市が実施する集団検診会場で受診できます。

医療機関で受診の場合

実施医療機関に直接予約してください。予約の際には「熊本市のがん検診」とお伝えください！

実施医療機関はこちらから⇒
または熊本市ホームページ
「がん検診のご案内」で検索
してください。



集団検診会場で受診の場合

一部地域(植木、城南、富合、飽田、天明、河内、北部)では検診車で集団検診を実施します。詳しくは毎月の市政だよりでお知らせしていきますのでご確認ください。

2. 受診

検診に必要なもの 保険証などの身分証明書
検診料（自己負担金）

40歳代	1,500円
50歳以上	1,100円

※生活保護受給世帯、市民税非課税世帯の方は、一定の証明書の提示で自己負担金が免除になります。

検査結果は約4週間後に郵送にてお知らせします。

ハイリスク対象者等（乳がん）裏面

**対象年齢の方は熊本市より
約9,100円の助成があります♪**

乳がん検診は助成がない場合、約10,000円程度の検査ですが、市の検診を受けると約9,100円の助成※1があり、自己負担金1,500円で検診が受けられます。（40歳代の方が医療機関で受診する場合）

医療機関で受診した場合※2

40歳代の方

検査費用	約 10,600 円
— 助成金※1	約 9,100 円
自己負担金	1,500 円

50歳以上の方

検査費用	約 7,700 円
— 助成金※1	約 6,600 円
自己負担金	1,100 円

※1 現金が支給されるわけではありません。

※2 集団検診での受診の場合も助成があります。自己負担金額は変わりませんが、検査費用及び助成金の金額が異なります。

受診できるのは**2年に1回!**

熊本市の乳がん検診は、熊本市に住民票があり、年度内に40歳以上の偶数年齢になる女性が対象です。

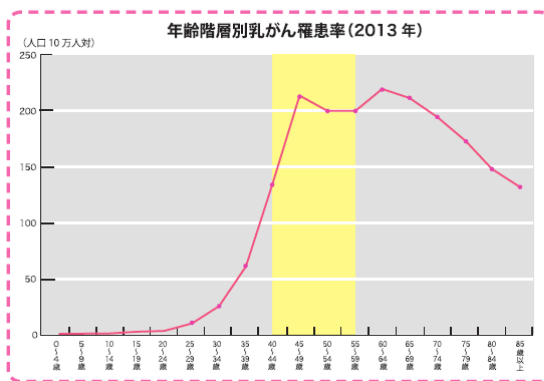
今年度対象の方は**平成31年3月31日**までに受診してください。

※年度とは4月1日～3月31日

**近年、日本人女性の11人に1人が
乳がんにかかると言われていました。**

もう他人事とは思えない！乳がんは女性が一生のうちで1番かかりやすいがんです。

特に40歳代後半から多く発生しています。



せ
が
は
便
郵

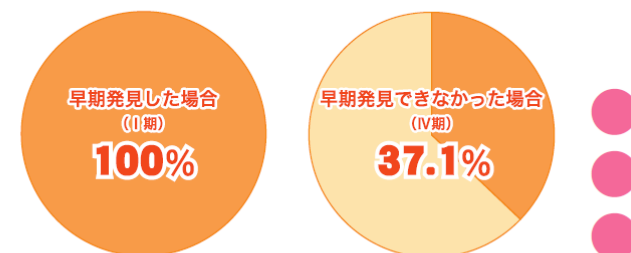
**乳がんは40～50代女性の
がん死亡原因ナンバーワン**

日本では、年間1万4千人以上の女性が乳がん
で亡くなっています。

**乳がんは早期発見で
90%以上が治癒します。**

正しい知識を持って、定期的に検診を受けることが大切です。

5年相対生存率



ここでいう「治る(=治癒)」とは、診断時からの5年相対生存率です。相対生存率は、がん以外の原因でなくなる人の影響を除いた数値です。

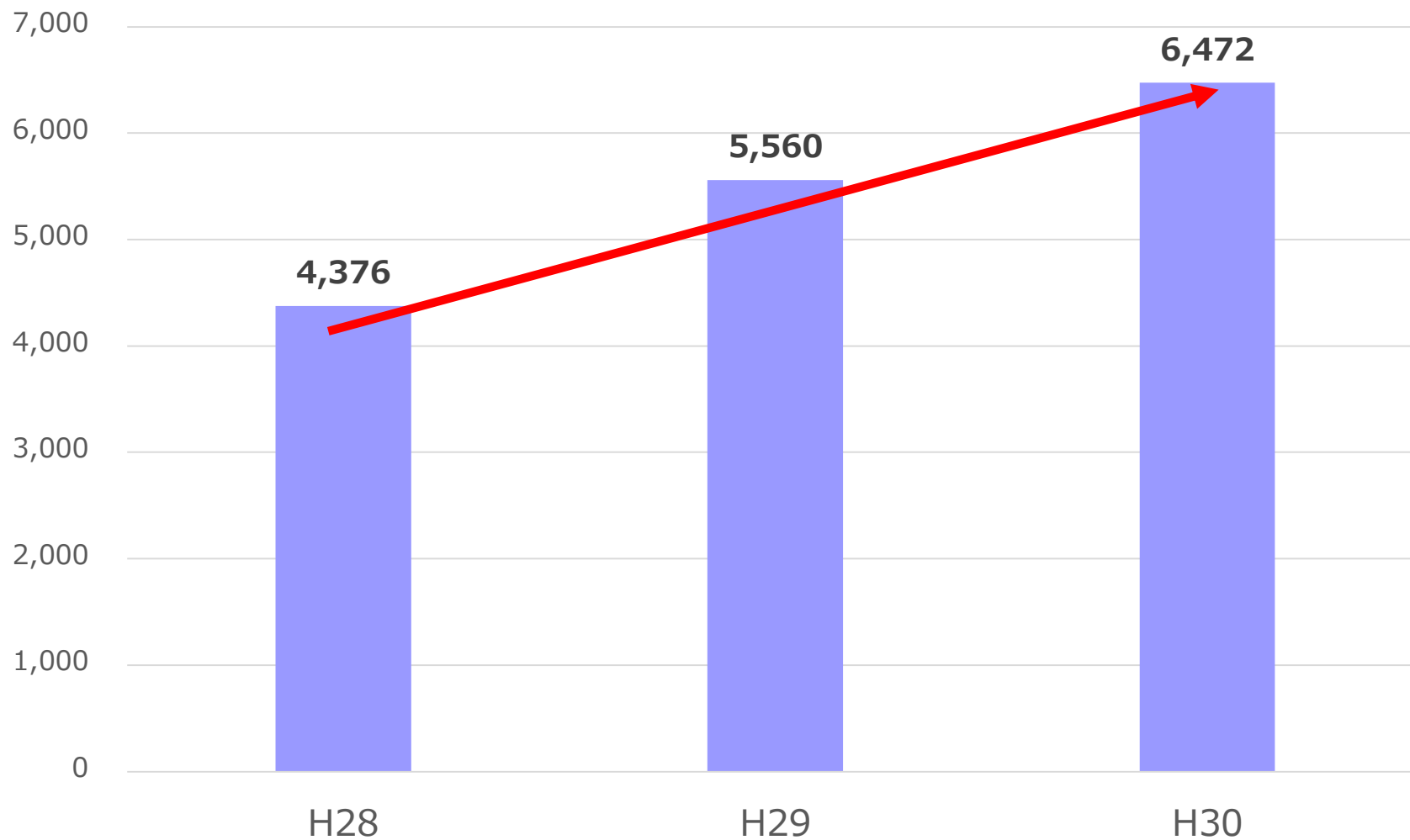
出典：がんの統計'17 全国がんセンター協議会加盟施設における5年生存率(2007～2009年診断例)

乳がん検診は2年
に1度、必ず受診
してください。



このはがきは今年度42～48、52～58歳の偶数年齢を迎える女性にお送りしています。今年度既に受診済みの方は受診できませんのでご容赦ください。

乳がん検診4-11月実績年度較



【導入に向けた進捗状況】

④胃がん検診における内視鏡検査導入（H30年度～）

H30.7月 熊本市胃内視鏡運営委員会

熊本市胃内視鏡検診読影委員会

8月 胃内視鏡検査実施方針等策定

12月 検診実施機関向け事業説明会開催

事業参加医療機関公募

胃内視鏡精度管理説明会

H31.1月 検診実施機関向け研修会

3月 胃内視鏡検査開始予定

胃がん検診における内視鏡検査導入（H30年度～）

がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針における
胃がん検診の変更点（H28.2.4）

種類	各項目	改正前	改正後
胃がん 検診	検査項目	問診、胃部エックス線検査	問診、胃部エックス線検査 <u>or胃内視鏡検査</u>
	対象年齢	<u>40歳以上</u>	<u>50歳以上</u> ※胃部エックス線検査は、当分の間、 <u>40歳以上も可</u>
	受診間隔	<u>逐年</u>	<u>隔年</u> ※胃部エックス線検査は当分の間、 <u>1回実施も可。</u>

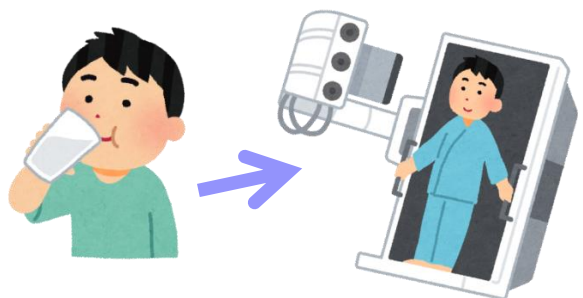
胃がん検診の変更概要フロー

【内視鏡検査導入前】

検診方法：胃部エックス線検査
※集団検診で実施

対 象：40歳以上の男女

受診間隔：逐年



○胃X線検査

- ・レントゲン検査、造影剤のバリウムと、胃を膨らませる炭酸ガスを発生させる発泡剤を飲んで受診。
- ・発泡剤を飲むとゲップが出やすくなるが、胃の粘膜を見やすくするためにゲップの我慢が必要。
- ・膨らんだ胃の粘膜にバリウムを付着させるために、身体を仰向けやうつ伏せ、左右に回転させる。
- ・バリウムは時間と共に粘膜から剥がれ落ちるため、撮影を行いながら身体を回転を繰り返す。
- ・レントゲンで胃の内部を撮影するため、食事や飲料の摂取制限あり。

【内視鏡検査導入後】

胃部エックス線検査
※対象等は右図参照

or

検診方法：胃内視鏡検査
※個別検診で実施

対 象：50歳以上の男女

受診間隔：隔年



のいずれかの方法を選択

○胃内視鏡検査

- ・小型のカメラを装着した細い管を口または鼻から挿入し、食道、胃、十二指腸を直接観察。
- ・粘膜の微細な変化も鮮明に見えることから、凹凸の少ない病変や出血なども確認が可能。
- ・内視鏡を挿入する痛みを軽減するための麻酔薬や、胃の動きを抑える薬などを利用することから、薬剤アレルギーや持病がある方は注意が必要。
- ・管がのどを通過する際に嘔吐反射が起きることがあり苦痛を感じる場合もあり。苦痛を軽減するために鎮静剤を利用する事もある。
- ・内部を観察するため、食事や飲料の摂取制限あり。

【参加医療機関】

○検査医の要件

胃内視鏡検診の検査医は次の①または②いずれかの要件を満たし、③を必須とする。

- ①日本消化器がん検診学会認定医・日本消化器内視鏡学会専門医・日本消化器病学会専門医のいずれかの資格を有する医師
- ②診療、検診にかかわらず、概ね年間100件以上の胃内視鏡検査を実施している医師
- ③年に2回、精度管理講習会を開催するのでどちらか1回参加すること。

○検査関連機器

①内視鏡の種類

内視鏡は電子内視鏡（NBI、BLIなどの画像強調観察が可能なシステム搭載の電子内視鏡が望ましい）とする。経口内視鏡、経鼻内視鏡いずれも可。

②自動洗浄機

内視鏡の洗浄には自動洗浄機を使用する。

○その他

偶発症への対応可など

⑤がん検診無料化についての検討（H29年度～）

【市長マニフェスト 55】

がん検診を完全無料化し、受診率の向上を図る等予防医療を積極的に推進します。
また、健康診断に超音波検査（腹部）を導入し、早期発見・早期治療を推進します。

【実施方法についての検討】

1 実施期間について

- ・恒久的 or 期限付実施（キャンペーン的）

2 がんの種類

- ・全がん or 種類を絞り実施

3 他都市（堺市等）の実施状況

- ・受診率の導入前年との受診率比較等

4 実施方法の検討

- ・無料化のみ or 個別受診勧奨とセットでの実施など

【実施に当たっての課題】

より効果的な実施方法の検討